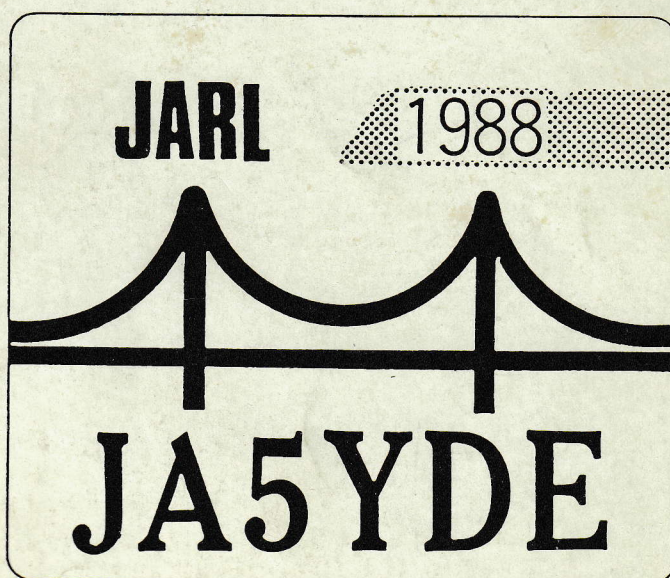


J A R L 香川クラブ創立四十周年記念誌

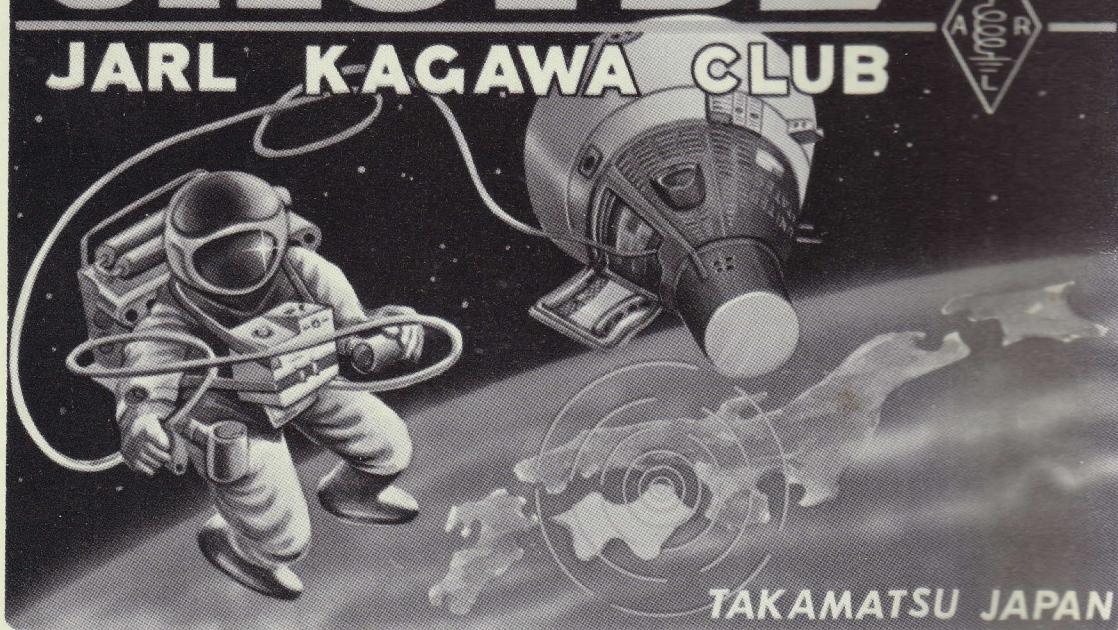
香川クラブ 40ねんのあゆみ



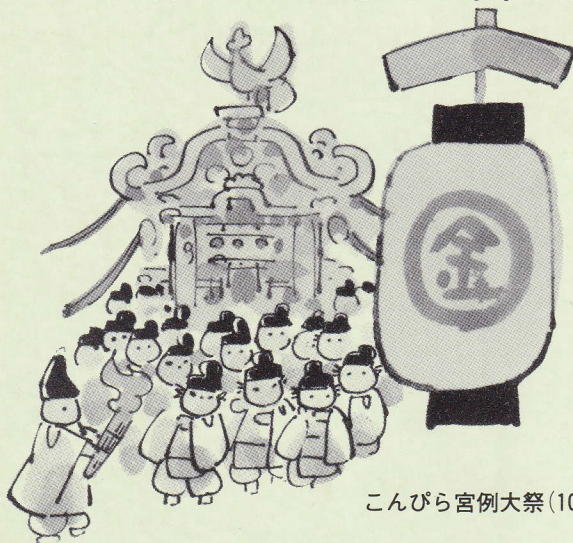
親日本アマチュア無線連盟
JARL香川クラブ

JA5YDE

JARL KAGAWA CLUB



JARL 香川クラブ創立30周年記念



こんぴら宮例大祭(10月10日)



JA5YDE

JARL香川クラブ

JARL香川クラブ創立40周年記念ごあいさつ

JARL香川クラブ

会長 JA5AHM 天 野 英 弘

JARL香川クラブは、1988年10月で創立40周年を迎えることができました。これは諸先輩の永年にわたるご努力とアマチュア無線に対する情熱

また会員相互の協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。その足跡はクラブ創立以来休むことなく定期的に発行された「JARL香川クラブ報」に記され、その集大成として、このたび240号を40周年記念誌として発行することができました。

全国に数あるクラブの中でも最も古い歴史と伝統をもつ、わがJARL香川クラブは、地域の中心的存在であり、豊富な人材を各種のアマチュア無線活動の重要ポストの役員として多数送り出しており、40年の歴史の深さを感じさせます。

本年4月には、人類の英知を結集し、9年半の歳月と1兆1千億円の巨費を投じた瀬戸大橋が開通し、瀬戸大橋博'88四国では特別記念局8J5XPOの開局運用、5月にはJARL第30回通常総会が香川県で開催され、私達アマチュア無線家にとっては歴史に残る記念すべき年となりました。

情報化、国際化の新時代を迎え、社会的にもアマチュア無線人口の増大とともに、その責務はなお一層重くなって来ております。

私達は、この創立40周年を新しい出発点として、諸先輩の築いた輝かしい伝統と実績の上に更に新しい一ページを加えるため、ますます努力を重ねる決意であります。皆様の一層のご理解、ご支援をお願い申し上げます。

(社)日本アマチュア無線連盟

会長 原 昌三 (JA1AN)

JARL香川クラブがこのたび創立40周年という、記念すべき時を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

貴クラブは、多くのアマチュア無線のクラブにあって、有数の歴史を有しておられ種々の活動におきましてもめざましい活躍を続け、われわれ日本のアマチュア無線界の発展に尽くして来られました。アマチュア無線の再開以前の時代からクラブを設立維持発展させ、今日の隆盛を築かれましたメンバーの方々のご努力に対し、深く敬意を表する次第です。

また、JARLの飛躍的な発展につきましても、四国エリアの有力なクラブとして長年尽力いただきました皆様方のご努力が大きな力となっており、今年当地で開催されました瀬戸大橋総会においても尽力いただくなど、ここに感謝申し上げる次第です。

わが国のアマチュア無線は、手作りで何とか電波を出したいという時代からスタートし、皆様のたゆまないご努力により、デジタル通信・画像通信そしてもっとも高度な技術を要する衛星通信など、様々な通信方式の発展をみるにいたりしました。これらの新技術を広く後輩にも伝え、さらに楽しく有意義なアマチュア無線の世界を創造するためには、これからもお互いがより大きな熱意をもってこれに取り組むことが大切だと存じますが、各位におかれましてもますますのご活躍を期待しております。

最後に、貴クラブがさらに素晴らしい歴史を積重ねられ、今後とも一層発展されますことを祈念いたし、私の40周年のお祝いとさせていただきます。

祝 辞

J A R L 香川県支部長 越智 繁彬

伝統ある J A R L 香川クラブの創立 40 年まことにおめでとうございます。
一口に 40 年と言いますが、これだけ長期にわたって今なお活発に活動しているクラブは、日本広しといえども「香川クラブ」以外には無いと思います。

先日偶然にも昭和 20 年代の四国新聞を閲覧する機会があり、「メンソレータム」などの広告に交じって、「待望のラヂオ兼用蓄音器発売」とか「良く鳴るラヂオ、真空管」などの紙面を見て随分と懐かしい感じがしたことがありました。

私自身この時代には、B C L や S W L を盛んにやっていた時期でもありました。

ところでこの 40 年間のアマチュア無線界の発展・隆盛は、一般の予想をはるかに越えるものがあり、日本は世界一のハム人口を抱える普及国となりました。
ハム界も電信・電話に加えて、F A X, A T V, S S T V, P a c k e t や衛星通信などと多様化し、使用周波数の範囲もますます拡大の一途を辿っています。

しかし一方ではバンド・モードの拡大が、アマチュア局相互のコミュニケーションを悪くしているという事実も否定出来ません。バンド・モードごとのグループ化が進行し、それぞれのグループ間でしばしばトラブルが発生しているのは周知の通りであります。

本来アマチュア無線家同士は、同じ趣味を持つ仲間でありお互い情報交換をしながら技術を高め、ますます友好を深めてゆかなければならないと考えます。

このような時代に於いて総合的なクラブの果たす役割がより重要である事については、議論の余地はありません。

J A R L 会員のコミュニティ・プラザとして、あるいは香川県支部の J A R L 登録クラブのリーダーとして「香川クラブ」の役割は、一段と重要なものがあります。

アマチュア無線界のますますの発展と「香川クラブ」会員諸兄のご健康と、今後のご活躍を祈念してお祝いの言葉といたします。

(J A 5 I Q D)

JARL 香川クラブ 40 年のあゆみ

昭和23年10月	香川クラブ結成 初代会長 岡本良雄氏就任 NHK高松放送局に20余名参集< 大塚(JA5AF), 太田(JA5AG) 山下(JA5AI), 岡本(exJ4EA), 梶, 石川, 北谷氏等>結成す。
24. 春	受信機製作コンクール実施? (提出しない者には罰金百円!)
25. 春	2代目会長 JA5AG 太田 等 氏
26.	国試 第1回目(JA5AD), 第2回目(JA5AF, CP) 実施
27.	国試 第3回目(JA5AA, AB, AG) 実施
10	JA5AA, AB, AD, AF, AG本免 JARL四国支部結成へ (JA5AB 宅に5名集まる)
30. 8	小豆島へ1泊ミーティングに (米は各自持参)
33. 7	3代目会長 JA5AL 平田 正幸 氏
10	クラブ創立10周年記念
34. 4	4代目会長 JA5AG 太田 等 氏
35. 1	JARL認定制度開始
36. 1	クラブ員80名を越すため分離し, 中讃地区に白扇クラブ誕生
1	ハム大学講座開講 (4月期国試準備のため2カ月間)
3	JARL四国支部大会 高松市で盛大に開催
4	36年度四国支部事務を香川クラブで担当
4	日赤香川県支部無線室にJA5RL局開設
4	香川県初のYLさん クラブより2名国試に合格
4	クラブ初の公開実験実施 (日赤センターを本部に)
4	東讃地区に讃岐クラブを分離誕生させる
4	アマ局にオールバンド開放
5	クラブQSO用に50.5MHz 使用決定
7	夏期ハム大学を開講 (10月期国試準備のため2カ月間)
37. 4	会費改正 (年間 局長200円, SWL150円)
6	高松の空に初の144MHz (FM, AM) の波出る! (JA5FI ~CH)
7	ハム再開10周年記念 (JA5 でJA5AA, AG本部表彰)
9	クラブ初の非常通信訓練実施 (50, 3.5MHz使用)
38. 3	JARL四国支部大会 高松市で開催
4	クラブ創立15周年記念 記念コンテスト実施, 記念品配布
4	38年度予算 11, 795円也
5	144MHz 電波 海を渡る (JA5FI ~ JA4ASS 間)

38. 5 クラブチャンネルに145.00MHz決定
12 年忘れQSOパーティ実施
39. 4 39年度予算 13,105円也
5 技術講習会開催(トリオ後援)
7 香川県非常無線通信協議会に加盟
8 四国で初の臨時国家試験 高松市で実施
(電話級 受験者184名, 合格者98名)
8 JA5FT局 SSB運用開始(クラブ初)
12 第1回クラブ年越コンテスト実施
40. 4 40年度予算 19,985円也
6 電波の日 移動公開実験実施
7 144MHz による県内電波伝ぱん実験実施
12 第2回クラブ年越コンテスト実施
41. 4 41年度予算 26,022円也
6 徳島クラブと合同ミーティング 県境にモビルで40名参加
12 第3回クラブ年越コンテスト実施
42. 4 42年度予算 36,722円也
6 電波の日 クラブ員放送電波にのる
7 四国で初の養成講習会 高松市で実施(クラブ協力で)
7 クラブ局『JA5YDE』開局・運用開始
10 香川クラブ NHKテレビに出演
12 第4回クラブ年越コンテスト実施
43. 4 クラブ創立20周年記念行事 アワードの発行(SETO賞,
WAO/MM賞), 第1回アクティブコンテスト実施
4 43年度予算 63,985円也
12 四国初の電信級移行選抜テスト実施(受験者44名, 合格者40名)
12 第5回クラブ年越コンテスト実施
44. 1 四国初の電信級移行講習会実施(高松市)
2 JA5FI 430MHz テレビ開局(オール自作!)
3 SSB技術講習会(トリオ後援)開催
3 JARL四国支部大会 高松市で開催
四国支部事務を香川クラブで担当
4 44年度予算 85,136円也
会費改正(年間, 局長300円, SWL200円)
4 5代目会長 JA5AB 田中 実氏

44. 4 JA5AG太田 等氏を名誉会長にすいせん
4 第2回アクティブティコンテスト実施 (年間コンテスト)
12 第6回クラブ年越コンテスト実施
45. 4 45年度予算 44,937円也
4 第3回アクティブティコンテスト実施 (年間)
6 香川クラブ RNCテレビに出演
46. 4 46年度予算 62,260円也
4 第6代目会長 JA5AG 太田 等 氏
7 電話級養成講習会 高松市で実施
12 第7回クラブ年越コンテスト実施
47. 4 47年度予算 54,511円也
4 第7代目会長 JA5MG 稲毛 章 氏
4 第4回アクティブティコンテスト実施 (年間)
7 ハム再開20周年記念式典が東京で開催 (JA5AF, MG連盟表彰)
8 JARL香川県支部発足 香川クラブで事務局担当
11 香川県支部長に JA5AG 太田 等氏 就任
12 ハム再開20周年記念パーティ開催
12 第8回クラブ年越コンテスト実施
48. 1 香川県アマチュア無線赤十字奉仕団結成
2 クラブチャンネル 145.08MHz に変更
4 会費改正 (年間 局長 500円, SWL 350円)
4 48年度予算 74,267円也
5 フィールドミーティングは早明浦ダムへ
7 クラブ創立25周年記念コンテスト実施 (全国的にCW, FONE で)
7 香川クラブ・ミーティング NSBラジオで放送
8 電話級養成講習会 高松市で実施
12 クラブ創立25周年 記念クラブ報 No.150号発行 (200部)
記念品のタオル配布
12 県支部主催第1回香川マラソンコンテスト実施, クラブ員多数入賞
49. 4 49年度クラブ予算 67,107円也
6 クラブ会長 JA5MG 電波の日に四国電波監理局長表彰
8 電話級短縮講習会開催 (クラブ協力)
10 第1回FOXハンティングを高松市中央公園で実施
50. 4 50年度予算 83,081円也
5 鷺羽山で児島・倉敷クラブと合同ミーティング (40名)

50. 9 第2回FOXハンティングを成合町河川敷で実施
11 秋の移動ミーティングは紅葉の別子ラインへ
51. 1 電話級短縮講習会をクラブ協力で開催
3 2m技術講習会開催（トリオの協力でナロー化、他）
4 51年度予算 94,577円也
4 会費値上げ！ 年間1,000円に（家族は300円）
6 香川クラブの様子をNHK-TVで放送
7 ジャンク市を香東川河川敷で2日間盛大に開催
7 香川県総合防災訓練に参加
52. 3 第3回FOXハンティング開催
4 県支部主催ソフトボール大会に参加
5 倉敷クラブと五色台で合同ミーティング開催
11 2m技術講習会開催（ナロー化対策）
12 恒例の忘年会盛大に開催（高松電信電話会館）
53. 5 倉敷クラブと倉敷市で合同ミーティング
7 クラブ創立30周年記念コンテスト実施
10 クラブ創立30周年記念QSL作成・配布
クラブお揃いのユニホームも完成
12 香川マラソンコンテスト今年も盛大に実施。クラブ員多数入賞
54. 2 クラブ創立30周年記念誌（No.180号）発行
4 フィールドミーティングで岡山市“2001博”見学へ
4 54年度予算 121,378円也
9 交通安全 フォックス&ラリー実施
10 『高松市趣味協会』に入会、活動分野広げる
11 秋のフィールドで大窪寺へ
55. 4 55年度予算 158,090円也
4 会費 年間2,000円に値上げ、郵便振替口座開設
4 マイコン講習会を市民文化センターで開催
4 高松市市制90周年記念QSLカード作成配布
5 フィールドミートでJARL第22回通常総会（吹田市）へ
7 JA5RL/5 記念局を市立ヨット競技場で開設運用
8 夏のフィールドは大滝山で1泊2日のキャンプ
11 『高松市趣味文化祭』に初参加
12 恒例 忘年会を“とんかつ”で盛大に開催
56. 4 56年度予算 237,130円也

56. 7 県総合防災訓練が高松市で実施。クラブより参加
9 「四国ハムのつどい」を丸亀市で開催(県下クラブ連合)
11 趣味文化フェスティバル“ハムとマイコン”開催
57. 3 総会の定款改正で名誉会員をおくこととした
JA5AF, JA5AG両氏を名誉会員に決定
4 57年度予算 254,424円也
4 新会長に JA5AHM 天野英弘氏 就任
4 高松市趣味協会副会長に天野英弘氏就任
8 夏のフィールド 大滝山で1泊2日のキャンプ
11 秋のフィールド 金砂湖(伊予三島市)へ
58. 4 58年度予算 287,827円也
5 国際コミュニケーション年で『8J5WCY』を運用(IQP宅)
7 2アマ国試対策講習会(CW)を開催
9 久しぶり ボーリング大会実施
10 四国地方本部創設30周年記念式典観音寺で開催
クラブ員多数が功労表彰を受ける
11 秋のフィールドは 鳴門公園と鳴門大橋架橋見学
59. 3 県支部大会が我クラブのホスト役で牟礼町にて盛大に開催
4 フィールドミートは海上より瀬戸大橋架橋工事見学
4 59年度予算 228,568円也
6 430MHz レピータ局JR5WL開局(5クラブ構成で)
12 恒例忘年会は 毎年12月30日に盛大に開催
60. 4 60年度予算 327,651円也
5 フィールドミートで‘88鳴門ワールドフェスティバル’へ
7 「第27回自然公園大会」でJA5RL局記念運用
61. 4 61年度予算 292,491円也
5 1,200MHz レピータ局JR5VD(峰山)開局
6 満濃池「ユル抜き」に合わせてJA5YDE局移動運用
7 アマチュア無線テレコム展(QSLカード展示=宮武画廊)開催
8 県総合防災訓練に香川クラブからも参加
11 JARL60周年記念式典で『JARL香川クラブ』表彰される
11 秋のフィールドは「ヴィラ塩江」にて1泊2日で楽しむ
62. 2 JR5VDに430MHz レピータ増波
5 高松市文化協会理事に天野英弘氏 就任
7 中曽根総理大臣主催の懇親会にJA5AHM 天野会長 出席

62. 12 高松市中央公園 第1回高松冬のまつりでJA5RL局運用
 63. 3 香川クラブ定期総会開催 クラブ創立40周年記念行事決定
 3 瀬戸大橋博でJARL特別記念局『8J5XPO』開局
 香川クラブなどの協力で165日間運用
 5 JARL第30回通常総会を香川町で盛大に開催
 63. 12 JARL香川クラブ創立40周年記念式典開催
 祝賀会開催, 記念誌発行

歴代クラブ会長

初代 (昭和23年10月)	ex J4EA	岡本 良雄氏
2代 (昭和25年4月)	JA5AG	太田 等氏
3代 (昭和33年4月)	JA5AL	平田 正幸氏
4代 (昭和34年4月)	JA5AG	太田 等氏
5代 (昭和44年4月)	JA5AB	田中 実氏
6代 (昭和46年4月)	JA5AG	太田 等氏
7代 (昭和47年4月)	JA5MG	稲毛 章氏
8代 (昭和57年4月)	JA5AHM	天野 英弘氏

(設立時) 香川クラブ会則

1. 本クラブはJARL香川クラブと称す
2. 本クラブはアマチュア相互間の親和並に協力研究を以て目的とす
3. 本クラブは香川県を中心としJARL正員及び準員並にアマチュア無線愛好家を以て組織す
4. 本クラブは男女、年齢、労力、技術、装置の有無を問わず将来on the airを希望することを第一条件とす
5. 本クラブは月一回のミーティングを開くを原則とす
6. 本クラブは全て委員制とし委員長一名、機関紙編集委員三名、技術委員二名、会計委員一名を選出する
7. 委員の選出は全て選挙に依って選出期間は一年とす
8. 本クラブは毎月会費として50円を徴収す

JARL 四国地方本部のあゆみ

- 昭和27年 7・29 アマチュア無線再開される。JA5AAを含め全国の30名に免許
12・20 四国の会員は関西支部に所属していたが、電波監理局毎に支部独立
分離の話が出る。
- 28年 2・ 四国支部設立準備会を香川県で開催。
4・ 9 JARL理事会で、四国支部が承認され、発足する。
4・29 第1回支部総会を丸亀市JA5AI山下宅で開催。
- 29年 4・ 1 四国地方非常無線通信協議会に四国支部として加入する。
- 30年 1・16 ・全四国交信賞の発行を決定。会員より100円のカンパをとる。
- 34年 4・ 1 JA5RL局の管理規定を制定。
8・ 8 初の支部連絡会議を阿波池田町山下旅館で開催。
- 35年 3・20 社団法人JARLの第1回四国支部大会を高知市で開催。
支部事務を高知―香川―愛媛―徳島の順番で担当する事を確認。
10・10 第1回全四国コンテスト開催。
- 39年 8・ 高松市で臨時国家試験実施。電話級184名受験 98名合格。
- 43年 3・17 連盟旗、支部旗(オリーブ色地に、文字を白ぬき)出来る。
- 45年 9・ 1 JARL四国地方事務局が松山市に設置される。
- 47年 5・28 JARL第14回通常総会が松山市で盛大に開催される。
12・27 四国合同支部報『四国だより』第1号発行。
- 48年 3・25 第1回四国地方合同支部大会を観音寺市で開催。
- 56年 3・21 仁尾太陽博覧会場へJARL特別記念局『8J5SUN』を開設。
- 57年 5・23 JA5AF大塚氏29年間務めた地方本部長を退任。
新本部長・理事にJA5MG稲毛 章氏就任。
- 58年 5・10 JARL特別記念局『8J5WCY』を香川県香川町で開設運用。
10・ 1 30周年記念誌『四国地方30年のあゆみ』を発刊・配布。
10・ 2 30周年記念式典をJARL原会長を迎えて、観音寺市で盛大に開
催。各種催しも開く。
- 62年 7・15 四国初の外国人局7J5AAAの免許おりる。
10・ 4 第4回西日本アマチュア無線シンポジウムを四国地方本部が担当し
松山市で開催。
- 10・19 JARL2.4GHzビーコン局『JE5IGY』の免許おりる。
- 63年 5・29 JARL第30回通常総会を香川県香川町にて盛大に開催。

創立 40 周年おめでとう

元 JARL 香川県支部長 JA5AG 太田 等

クラブ創立 40 周年おめでとう御座居ます。

同じ趣味を持った者の集りとは良いものですね。それだからこんなに永く続いたのでしょう。戦後のどさくさの中、又アマチュア無線をやろうじゃないかと集まった 20 余名で設立したのが JARL 香川クラブ。以来通算 20 年ばかり会長をやらせて頂いた思い出を振り返って感無量です。

当初の会員中戦前のコールを持って居た方々は、

J4EA 岡本 良雄 氏 J8CH 滝川 正己 氏

J4DE 大塚 政量 氏 J4CL 西山 始 氏

J8CL 大西 千秋 氏 (徳島県三好郡)

J4CM 太田 等 の以上 6 名。

SWL ナンバーを持った人も 7 名いましたが、其のナンバーが JA9-XX。どうして JA9 が四国なのか当時 JARL ニュース (CQ 誌) を調べても見あたりません。私も忘れました Hi! 昭和 25 年当時のクラブ会費は年額 600 円。少々高いようです。ですから毎月 50 円集めて居りました。今も昔も会費の徴収には頭を悩ましたものです。

クラブ運営誌

○ 昭和 25 年 10 月 1 日 栗林公園にて野外ミーティング (当時入園料無料) スラン
プのため 1 部より解散の動議が出たが全員にて向上する様努力する事に決定。出席者
9 名。

○ 昭和 25 年 10 月 29 日 会員 木村氏宅にて

集合時間が早かったか、ばらばらでいつからか開会する。本日はまずまずで意見も活発
クラブ報 NO. 3 号も出来たので出席人員は少ないが盛況の内に終わる。出席者 10 名

○ 昭和 25 年 12 月 3 日 木村氏宅

集合人員は相変わらず少数。意見の発表はあまりなし。議題は総会の日時 (26 年 1 月
14 日予定) 通知並びに委員選挙の方法。原稿送附の件。関西支部ミーティングに出席
の件 (旅費実費、会費支給) 太田出張と決定。クラブ報 NO. 4 号印刷完。出席者 11 名

○ 昭和 26 年 1 月 14 日 労働会館にて

総会と言いながら出席率不良。しかし徳島より大西氏の出席をみて話もはずむ。

議題は会則の一部変更。コンテスト。及び丸亀の新会員のため今後 1 ヶ月ごとに丸亀と
高松でミーティングを開くこととなる。新委員決定。クラブ報 NO. 5 号印刷完。

以上抜粋してみましたが、昔も今もやっぱり変らないようです。

香川クラブ創立当時の思い出

JA5AF 大塚 政量

香川クラブが昭和23年10月、NHK高松放送局（当時は寿町に普通の民家位の小さい局舎がありました）で、創立大会を開いてから30年過ぎました。その頃、私は香川県警本部の通信課の技官として勤めておりまして、給料は3,000円（1ヶ月です！）で替ズボンをひとつ買うと2,500円位しておりました。衣食住がやっと中の下程度にできる程度で、受信機ひとつ作るにしても生活にひびく！ような時代でした。

このような、戦後のきびしい時代から、現在のような時代まで、30年間クラブ報を出し続けてクラブ会員の連絡に努力して頂いた、代々のクラブ役員諸兄に心から敬意を表したいと思います。当時あるいは現在でも、クラブを作り、クラブ報の創刊号を花ばなしく出しても、それっきりで次のクラブ報を永久的に出せなかったような線香花火！的クラブの多い中で、香川クラブは全国的にも例の少ない立派な歴史を持つクラブといえましょう

昭和23年頃は、21MHzのアマチュアバンドはなく、主として14MHzと7MHzを受信しておりましたが、現在アマチュア局のない（注）中国には、たくさんのアマチュア局があり、14MHzの電話でよく受信できました。

C2ABとかC7TKというようなコールサインを使用し、地域によりC1～C9をきめて、自分でコールサインを作り、電波を出している者が多いといったうわさがあり、当時、電波の発射を禁止されていた日本のアマチュアには、うらやましい話でした。このような、まったく自由な中国のアマチュア無線界も2～3年で終わり、毛沢東主席を指導者とした共産主義国となると同時に、中国のアマチュア局は姿を消してしまいました。その代わりに共産主義国家にありがちな作業服（人民服）を着ない、セビロを着たフルンチョフ氏がソビエト連邦の首相となり、ソビエト連邦のアマチュア局UA局が自由に外国と通信し始め、アジアにおけるアマチュア界も活発になってきました。

10年ひと昔といいますが、三むかし！前、香川クラブ創立当時の思い出とアマチュア無線の状態をのべさせて頂きました。

（注）昭和53年の話。

香川クラブと私

JA5MG 稲毛 章

私がハムを一番最初に知ったのは、昭和24年の小学校6年の時だったと思う。まもなくハムが再開されるということを親友より聞いたのです。

中学校時代にはボーイスカウトに入団し、モース符号を覚え、ボーイの資格に挑戦しました。並四のラジオも理屈のわからぬままいじくりまわっていました。

高校に入りスーパー受信機を組立て、小遣い稼ぎをしながら、押入れの隅に置いた受信機でSWL活動をつづけていました。

実際に開局できたのは、それから数年たった34年春です。807シングルの送信機に、ダブルスーパー受信機、竹竿利用の20m水平ダイポールアンテナといった標準型のシャックでした。

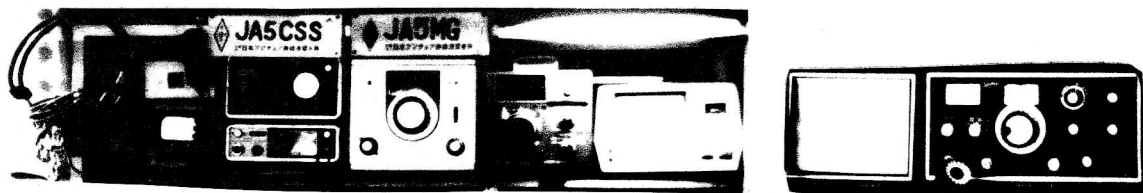
昭和38年春に帰郷するまでは、出稼ぎに出かけていましたので、ほとんど主の居ないシャックになっていましたが・・・帰郷してからは本格的にon the airを楽しみ始め、さっそく香川クラブに入会させて頂きました。

クラブ局JA5YDEが瓦町駅前の太田理工社内に開局してからは、何年間かこの会議室でミーティングをやっていたと思いますが、子守も兼ねて（させられてHi）セカンドをよくつれて行ったものです。

40年度の始まりにJA5AG太田さんからJARL監査指導委員を頼まれ、これが今日のJARLのお世話をするキッカケになった次第です。クラブ関係では、43年4月からクラブ技術担当、編集担当などをやり、45年4月から副会長、47年4月より57年3月までのちょうど10年間、会長としてお世話をさせて頂きました。

クラブもその昔は大所帯になると、再三分割させて、東讃や坂出地区に新クラブを誕生させたいようですが、その後はだいたいメンバー数は80-100名位で歩んで来ているようです。

全国でもこれほど古い歴史と伝統のあるクラブは、他にも例が少ないと思います。今後も、50年、100年に向けて大いに活躍し、発展して頂きたいものと念願する次第です。



J R 5 W L 開局に当たって

JR5WL, JP5ZAG 局管理団体
運用責任者 J A 5 M I K

昭和55年4月頃、日本にもレピータをとの聲が高まり、我々の母体である J A R L が監督官庁である郵政省と交渉に当たったが、「現在の法に照らし合わせると許可することが出来ない」との回答に J A R L 本部も頭をかかえた。

理事会、評議員会を再三開き検討し郵政省に図り調整した結果やっとの思いで条件付ではあるが開局を認めて頂けることになった。

まず第一に第三者通信に対する問題点、業務を行うのであるから当然業務日誌の取り扱い、局免許の取り扱いについて、その他問題点は多様であった。

念願の無線局のシンボルであるアンテナを J A R L 本部の屋上に我が国初のアマチュア無線の中継局空中線を上げることに全国の無線家は固唾を呑んで見守り祝杯を上げた（昭和57年3月）。それから全国の J A R L の出先である各地方事務局にレピータが設置され一般のアマチュア無線家にとっても身近な存在となり各地で管理団体が結成され続々とレピータが誕生した。

香川県においてもその例外でなかった、県内で第一号の名乗りでは小豆島（J R 5 W B）であった、それから県内でも各所より建設申請が有るが、余りの設置件数の多い為、混信等の問題が多発、J A R L もレピータ委員会を発足させ調整に当たった、その為香川県での申請第3号である（J R 5 W L）の開局を迎えたのは申請より17ヶ月もたってからである。

J R 5 W L 管理団体に我が「J A R L 香川クラブ」の J A 5 A H M 天野英弘会長を団体の代表者に選任し、県内の地域クラブに御協力を頂き構成員を選任、管理団体を設立し、事務手続き、設備の準備、資金の調達等に当たり開局に向けて多大なる努力を必要とした。

J R 5 W L 主 な 出 来 事		
58年	1月10日	高松市中央町、隣洋ビルにて発起人会
	1月25日	430MHzレピータ局の開局申請書提出
	5月30日	439.56MHz設置場所、高松市中央町で承認される
	11月22日	レストラン新開にて管理団体再編成会議開く
	12月11日	430MHz電波伝搬テスト
59年	2月14日	設置場所等の変更申請書提出
	5月1日	設置場所、綾歌郡飯山町東坂元で承認される
	6月26日	呼び出し符号 J R 5 W L、リモコン局 J P 5 Z A G で免許
	7月1日	430MHzレピータ局運用開始
60年	7月28日	1200MHz電波伝搬テスト
	8月4日	1200MHzレピータ局の増設申請書提出
	11月5日	1292.54MHzで承認される
61年	1月24日	1200MHzレピータ局四国電気通信管理局より免許さる
	3月1日	1200MHzレピータ局運用開始

JR5VD・レピータ局の経緯と運用経過の概要について

JR5VD・JP5ZAV局管理団体

代表者 天野 英弘

かねてよりの念願でありました430MHz帯のレピータ局「JR5VD」の開局式が昭和62年2月1日、高松市峰山町の局舎前で、大勢のハム仲間が出席して盛大に行われました。この局は、バッテリーでバックアップしており停電時でも運用が可能でプロ局も顔まけの設備を誇っております。また、サービスエリアも高松市はもとより香川県内を十分にカバー出来るものと確信しております。

開局式のあと、マツノイパレスへ場所を移して和気あいあいのうちに祝賀会が催され、心ゆくまアイボールQSOを楽しみました。

すでに瀬戸内海沿岸では多くのレピータが稼働しており周波数も満配の状態でしたが、昭和63年にはJARLの通常総会を香川県で開催したいという声も出ており、何としてでもレピータ局を設置しようということになりました。

管理団体を結成して2年目、地域のハムの強力な団結と有形無形の協力をいただき、念願の開局運用の運びとなりました。同じ地域に住みながら、それまであまり交流のなかった各局も、これを機会にさらに友好が深まっていくことを願っております。

- S60. 2. 17. 喫茶ノバにてレピータ局設置について有志が会談
2. 19. レストラン・グリーンハウス松島店にて発起人会
2. 24. 430MHz電波伝搬テスト
7. 28. 1200MHz電波伝搬テスト
8. 4. 1200MHzレピータ局の申込書提出
11. 5. 1200MHzレピータ局1292.50MHzで承認
される。呼出符号JR5VD, リモコン局JP5ZAV
- S61. 1. 24. 1200MHzレピータ局とリモコン局、四国電気通信
監理局より免許
5. 1. 1200MHzレピータ局運用開始
7. 30. 430MHzレピータ局の増設申込書提出
10. 23. 430MHzレピータ局439.98MHzで承認
12. 23. 430MHzレピータ局、四国電気通信監理局より免許
- S62. 2. 1. 430MHzレピータ局運用開始

夏32年 活躍する県下のアマチュア無線

さる七月十六日石川県奥能登を襲った風水害でアマチュア無線のネットワークが孤立した輪島市との通信連絡に活躍し防疫用のワクチンを急送、気象時報を伝えて各方面から感謝されたことは記憶にも新しい。趣味を通じ結びあつた電波が災害や危急時に高い人命を救う貴重な役割を果たすことは近く切られる映画「空と海の間に」に生々しい感動をもつて描かれている。本県でも約三十のアマチュア無線局が開局、国際的な交友や国内の友情を深めることに役立っているが、いまその活躍ぶりをのぞいてみよう。

国境越え……友情交換 完全な道楽の一つ 戦後激増 すでに三十局も

正式にアマチュア無線一、二級技師の免許状をもちコールブックにのっている人は県下で三十六名、全国組織をもつ日本アマチュア無線連盟の一環として四国四県に四国支部がおかれ、会長は三豊郡上高野村、託問電波高校教諭、大塚政重氏でその下に四県クラブがあり県下の会長は高松市堀田町でラジオ商を営む太田等氏。三一年一回四国支部の総会を開き各地の情報を交換するとともに中央からの連絡事項を報告、県クラブでも昨年までは毎月一回集つて親睦を深め

線電信電話実験局といういかめしい認可を受けたときには四国にわずかに五局があつただけ。それも全部本県下つた。その後、太平洋戦争から戦後占領時代にかけてアマチュア無線は徹底的な禁止措置を受け二十四年つらく復活許可されたといふ。メンバーは機械いじりが飯より好きという連中は

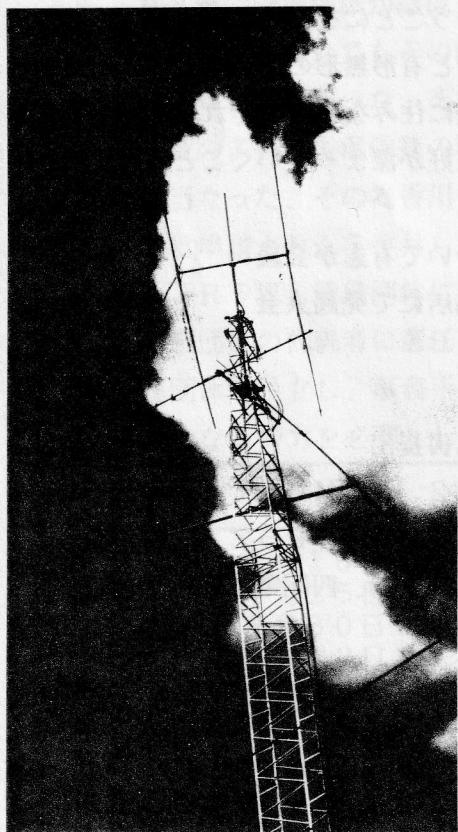
かり。あり合せの中古機械をたくみに活用して電波をたのしんでいる。太田さんいわせるとアマチュア無線は完全な道楽、全くもうけにはならないだけでなく経費がかかるばかりといふが、どの人も無線は電波を自由に交換している。趣味は国境をこえるというものであらう。

無線技師の国家試験をうけて合格すれば電波監理局からコールサインの指定を受けて開局するといつた運び。一級には三・五メガ以上の八種の全周波を通じて電信電波を活用出来るが、二級は八メガ以下と五十メガ以上という制限がついている。

全国では約三千の開局を数え日本は国際的にも普及率が高いといわれるが本県もそのとおり。しかしまた婦人のアマチュア無線家は現われていない。小さな古びた送受信器で国内各地はもうろんぞく南米、ロンドン、パリなど



無線家の身辺にもそれとなく監視の眼が注がれていたといふ。太田さんは「無線をいじることだけではさういった特殊なタースはあつていない。最近無許可の電波が横行しており、普及するのは結構だが、エチケツトを守つて電波の質を向上させてほしい」といふ声



(写真はアマ無線の送受信器)

アマチュア無線 連盟香川クラブ

S 44年

話す人 田中 実さん(会)

(会長、木工業、高松市塩上町二丁目)

なんでもインスタントの時代です。この会ができた二十三年(ころは、古

いラジオから部品をとってか、それが証拠にいまの若い会員たちは機械が故障しても直せる人が少ないし、機械そのものの性能を求めている高めようとする人があまりないですね。わ

わたしの グループ

中学・高校生ふえる

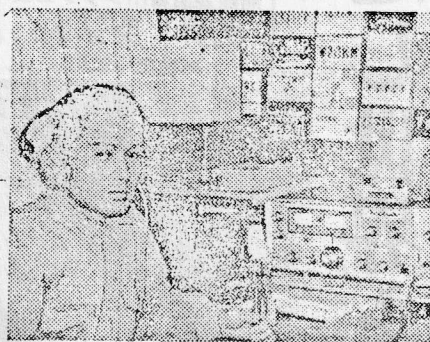
何もかも自分の手で受得したもので、それがいまは全部セットされたものが、金を出せばすぐ手にはいるので、自分もふえるはずですよ。県下で約八十人、中学、高校生がふえているのも最近の特徴です。

しかし本物の楽しみは機械の性能を高めようとする手作業です。

人によって海外との交信を専門にしたり、もっぱら国内に限るなどさまざまですが、わたしの場合は海外専攻で、二百五十カ国といったところ。もっとも電波交信という「国」はたとえはハワイなど遠くの国を指定

しますから実際の国数よりは多くなりす。

アメリカ、ヨーロッパからアフリカなどの人々とも話合いました。ただ語彙に弱いのが直きところ、せうか、グリーンランド、



「CQ、CQ」と他局からの応答を待つ田中さん(高松市塩上町の自宅で)

の内容は相手の局名や機械の性能程度に終つてしまふのが残念です。オーストラリアと交信すると、クリスマスが初めたりして面白うこともあります。

免許がとりやすくなつて局数が増えるので、電波事情も濃密です。中、高校生は就職、進学競争なみになっています。

で東京、大阪へ機械、つまり局ごと移転するので、とくに四国周辺は電波状態です。以前のように局数が少ないと簡単な機械で好きなときに電波のとく限り話ができただけ

月日のたつのは早いもので、後1ヶ月で1970年代を迎えようとしている今日この頃です。戦後アマチュア無線が再開され、当局が開局したのが27年11月、ざっと17年になります。スランプもありましたが、よくも続いたもので、われながら感心している次第です。

その間アマ無線制度の面でもいろいろ変化がありました。3.5, 7MC全バンド開放2級オールバンド開放、電信・電話級制度、1.9 MC獲得、講習会、認定制度等等、総てJARLの業績である。どこのクラブ・ミーティング、大会に行っても決まったように、JARLはJARL News, QSLの転送のみしかサービスをしていない。という意見が必ず聞こえる。ごもっともであるがあまり勝手すぎるように思えてならない。最もJARLとしても最近のヒットがないのは否めないが、今後の問題としてTVI対策、包括免許、外国アマチュア局相互協定等、JARLの行動力に期待したいものです。

(クラブ報 127号)

クラブ会長 JA5AB 田中 実

私と 生きがい

S. 60年

私たちのクラブが結成されたのは、米軍の占領下であった昭和二十三年で、アマチュア無線がまだ再開されていない時でした。

アマチュア無線家のことを、一般的に「ハム」とよんでいます。

ハム

アマチュア無線の業務について、電波法では、「金銭上の利益のためでなく、もっぱら個人的な無線技術の興味によって行う自己訓練、通信及び技術的研究の業務をいう」と定められています。現在では金さえ出せば、セッテされた無線機が手にはありますが、ハムの最高

の楽しさは、自分で作った送信機や受信機を使って、年齢も職業も異なる未知の人々と電波を通じて友達になれることです。ハムは電離層の発見なく、今日の無線通信の発達に大きな貢献をしてきました。電波は私たち人類が共有する貴重な財産であり、無制限に使用できるものではありません。

社団法人日本アマチュア無線連盟香川クラブ会長

天野 英弘 (51)

(高松市中新町)

電波通し世界と交流

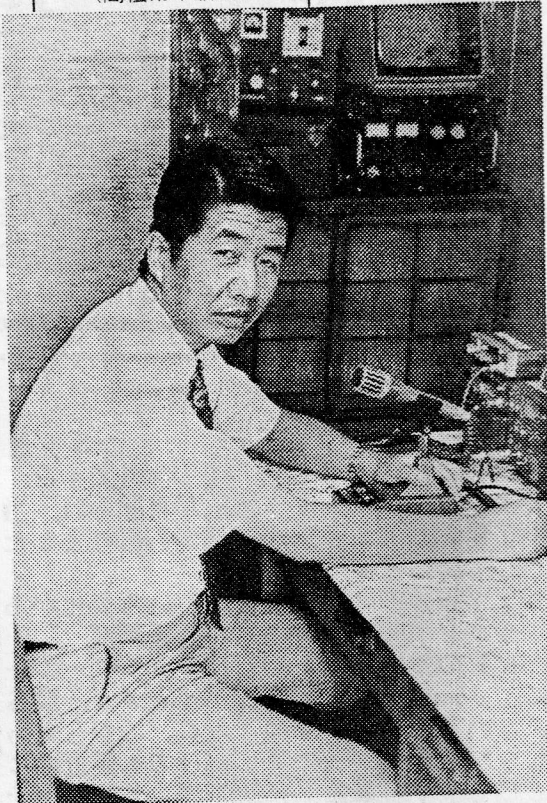
ん。ですから、私たちハム

は交信を楽しむだけでなく、風水害や地震など非常の事態が起こったときには、人命の救助などのために非常通信を行い、社会的にも多くの貢献をしています。

一般的に知られているアマチュア無線は、自動車無線、遠い外国との交信、近距離の局とのおしゃべり、山や海へ移動その運用などですが、最近ではテレ

イプやテレビ、ファクシミリ、衛星通信、あるいは月面反射による通信など多岐にわたっています。また無人無線中継局も各地に開局され、ハンディトランシーバーでも遠くの局と交信できるようになりました。また、まもなくハム専用の人工衛星がハムの協力で打ち上げられます。これは民間の団体がわが国で打ち上げる第一号の衛星になるということで、ハムとして誇りに思っております。

エレクトロニクスの発達とともにハムの世界も大きく進展し変容してきました。健全な新人養成のため、年二回の講習会を開き、私自身も「趣味の王様」であるハムを楽しんでおります。



A black and white illustration of a globe. On the left side of the globe, there is a satellite dish antenna with several lines radiating from it, suggesting signal transmission. In the upper right corner, there is a small, dark, teardrop-shaped object representing a satellite. The globe itself shows the outlines of the continents, with North and South America visible. The text "No. 2" is written in a simple, bold font in the lower right quadrant of the globe.

目次

- ## My Set

元J40E 大塚政量

n.o. 4

(26年)

JARL香川クラブ発行

目 次

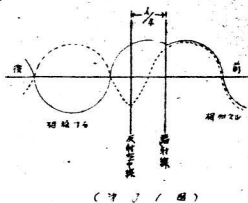
1. 送信用空中線調整(J) EX-J8CH P. 1
2. 水晶片の裏書き EX-J8CH P. 4
3. DX HAM BAND JA9-36 P. 5
4. 三つ折紙 P. 6
5. 会費台帳(へきこ) P. 6
6. 種別 P. 7

送信用空中線概説(3)

ex-J8CH 港川正己

10. 反射字中銀

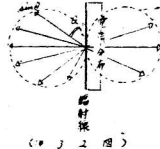
空中に誘導線は電波が到来すると、それを吸収して、その中に振動電流を起しその振動電流は電波と共振する。但しこの電流は波長の長さが到来電波の波長の半分の、又はその整数倍の時特に顕著となる。(次の図に於て)

[illegible]

11 簡単な空中標の指向性

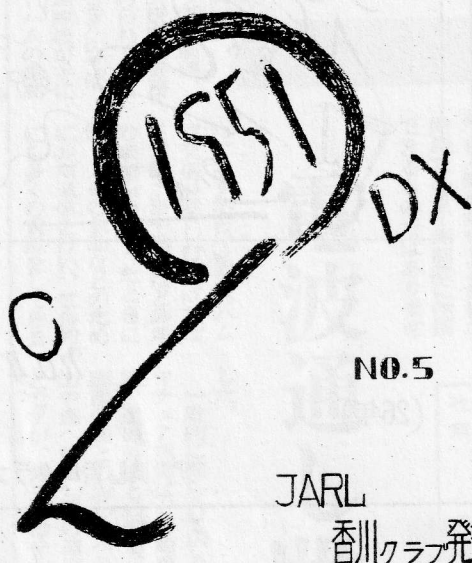
年より遠くを若し輻射角の差違を α と見做す時は輻射線から日影の位置を算するに於て差違の輻射角は $\sin \alpha$ に比例する。従つて輻射角が異なる、輻射線長の割合を $\sin \alpha$ の割合に $\sin \alpha$ の比の長さとする。この比の長さを $\sin \alpha$ と書く（ α は α の角の面）と定ると二角の比は $\sin \alpha$ と等しくなる。この角の比を $\sin \alpha$ と定るとして、距離を算する見の $\sin \alpha$ の角の面を $\sin \alpha$ と定ると、此の $\sin \alpha$ の場合 $\sin \alpha$ と $\sin \alpha$ （指向係数）の $\sin \alpha$ と $\sin \alpha$ の $\sin \alpha$ （指向係数）と $\sin \alpha$

図 1
 (*)



(註) 指向度数は空中線の最大輝射方向の強度を1とする習慣になっているが本稿では計算の便宜上、空中線の最大輝射方向の強度を1とし、これに同じ電流(電流値)を流した導線に供給した場合、前強度に対し倍になる外基指向係数を1として取扱った。

香川クラブ報



香川クラブ会費名簿

EX J4EA	岡本良雄	大川村引田町
J8CH	滝川正巳	小豆郡江利中631
J8CL	大西千秋	備前県三好郡美濃町
J8CL	西山信	丸亀市松尾町
J4CM	太田孝	高松市北上町251
J9-D	大塚政孝	三豊郡同市東成島高松市内
J4DE	森川孝一郎	木田郡木上村3357
J9-53	石川肇	高松市笠岡町833(高松放送局内)
J9-45	北谷久	高松市笠岡町533
	梶本久	伊予県石井町(松山放送局内)
	林隆文	丸亀市上町141
J9-13	神島安	高松市笠岡町537
	木村悦夫	高松市笠岡町
	若橋孝夫	丸亀市笠岡町
	越後実	丸亀市笠岡町
J9-36	田中実	高松市笠岡町1155
	細川昭二	高松市笠岡町
J9-54	川西太郎	高松市笠岡町
	藤田弘子	高松市笠岡町
	金沢美奈	高松市笠岡町
J9-17	山下英人	丸亀市笠岡町6
	香川昌	高松市笠岡町1
	香川一朗	高松市笠岡町
	香田久男	高松市笠岡町
	田中武二	丸亀市笠岡町
	小島一	丸亀市笠岡町
	坂井俊明	丸亀市笠岡町
	山田昭	丸亀市笠岡町

香川クラブ報

APRIL 1 1951

OSO無線局(5RL)の開局せまる

先に日赤香川県支部より出された文書を検討の結果、日赤香川県支部内へ、OSO用アマチュア無線局を設置することになり、その準備をローカル各局の手を借り進めておりましたが、この程、機器の設置も終り、盛大なる開局式を待つばかりとなつております。尚、開局式は、来たる4月1日午前10.00時より、日赤香川県支部の三階無線室において行われます。今後ともローカル各局のご協力をお願い致します。この開局式について、香川県、高松市並びに市内オオタ理工社よりご寄附をいただきますことを御礼申し上げます。

36年度のクラブ新役員決る

新年度期にあたり、当香川クラブの新役員を選出をいそいでおりましたが、新しく選出されました諸氏の承諾を得、ここに新年度のクラブ役員が決定しました。

会長	JASAG	太田 等
副会長	5AP	川西 太郎
庶務	5QJ	市取 晋
企画	5VV	青木 寛
渉外		田中 和彦
編集		

PR移動公開実験を行う

香川クラブでは、兼ねて計画中であった移動公開実験を来たる4月2日(日曜日)に行うよう決定し、原島山上、三好高松支店上、栗林動物園野外ステージの三地点に移動し、アマチュア無線のPRはもとより、各名勝、旧跡のPRと多彩な移動公開実験を行います。尚、当日の使用周波数は、3.5MC、7MCの両帯を用いる予定ですので、ローカル局のご協力をお願いするとともに、SWLの方々もこの機会に見学されることを希望致します。

JARL-KAGAWA-NEWS

オニ回三ーティングから。

年が明けて早々の四日(日)午前11時から今年度二回目のミーティングを開きました。外は寒風の吹き荒ぶ翌日の寒風でしたか会場は紅一葉を加え終始なごやかな雰囲気の中に午後五時散会しました。一人当り100wの機体温を150WにQRして討議した結果次の通りです。

1. 国家試験を是非香川県でも行えるようにしたい。

2. 初級者対稱の講習会を開きたい。

3. CW練習について、以上三件でした。

(1) については現在松山まで出て行く時間的、経済的ロスが大きいので電監の出張を我々が持つてまでもいいから高松で行いたいと言うことになりこれについてAGさんから高松での例あげられ不可能でない旨の説明がありました。そこで一応無線手考国家試験及び免許規則ヤチ条の施行地に認めていただきよう請願書を郵政省電波監理局検定課及び四国電波監理局検定に送付して反応をみようと思ひます。これがうまく行けば半永久的に電監の自費で出張して来るようになりますので同時に請願書は一枚の該当欄に記入捺印の上100.45Jまで返送下さい

香川クラブ報

— 1950.6 —

●ミイ・ティグのお知らせ●
 前回は初めて行われ、20数名の同好者、SWLが、出席2
 時頃客ラゲチュー。ここで昼食のため、附近の食堂へQSY、食
 事をしながら話込み3時頃散会しました。今回は下記の場所
 で行います。多数御出席下さい。

日時 7月3日 日曜日 午後一時より
 場所 高松市公民館 (玉子公園) 東

●クラブ局申請関連●

この程度松商高アマチュア無線クラブでは、通学通を主体とした
 クラブ局を申請します。クラブ員は正準合せて約20名位リグは
 終段6L6S、周波数3.5、7McAで運用する予定免許が降り
 るのは、8月頃と思われる。JAS初のクラブ局になるのでは
 ないかと思われこれからの活躍を期待したいと思ひます。

●公開実験開く●

6月4、5日高松一高(学生寮)でSTOが、移動大勢の見学者の
 もと、多数の局と交信、活躍した。当日のシヤツはTX807
 S、RX9R4、ANT80Mロングワイヤを使用、FBな2日
 間でした。

●オートマチック O W モニター●

ここに御紹介するOWモニターはW9EFGの考案になる極めて合
 理的に設計されたトランスミッターによる。新しい型式のモニター
 であり、J.A.に於いても、OW局の増加にともないぜひの出来ないキ
 ーイングを、目指しているOWの方々に見ることが出来た。出来た
 ものであり、現在まわっているものでこれをおそらく最初のもので
 トランスミッターをうまく使ったものでこれをおそらく最初のもので
 あり小型に組むことが出来る他電源をTXのキーイングチューブの
 カソード電源によつて得ているなど行届いた。設計がなされてい
 て感心されますがなんと官つても大きな持ちようは、全てが自動
 的に動作することでしょう。このモニターはカソードキーイングのTX
 には全て使用出来ます。このモニターの電源は図のRの両端に
 生ずる電圧により得ていますから別に電池等は不要です。トーン
 OSC用のトランスT1とT2は、低周波用入カトランスを用いれば
 よい、T2は普通のアウトプットトランスでもよい。考案者W9EFG
 氏はジャンクボックスから見つけ出したものを使用したとあり

香川クラブ報

1955.5. No.103

定例ミーティングの案内

7月の定例ミーティングは下記の通り開かれます
 町多忙のことでようか多数の参加を望みます。

記

日時 7月4日 午後1時より

場所 市民会館 第1会議室

「電波の日」公開実験行われ。

6月6日「電波の日」高松市城上にて午前10時から
 午後3時頃迄5BDGを中心5BBQ 等諸氏の協同
 より3.5、7Mcを中心公開実験が行われた。
 当日はジャンクボックス、外にFBな模様。
 5BDG! 等諸氏がいた。

変更申請書(指定の便、無線設備)がクラブ
 員にいます。これは指定申請書等一切の含まれ
 ており一部50円です。
 必要の方は5AG、5DA迄は連絡ください。

香川クラブ報

1969.5.31 No.125

クラブ屋外ミーティング

魚釣大会開催する。

去る5月11日(日) 9時30分 琴電丸町駅地下道東
 口に集合したモビル数台。前日までの雨で土足玉心
 記されたが絶好の晴天。一路 滝屋 鯉川へと
 車を走らせた。現地直行組と滝屋で合流。10台
 をこえたモビルにクラブ員やYL、2nd 30余名が
 参加、川原にテント設置、釣の準備を行い、いざめし
 のおかしな釣りの急ぎはじまり。時間とともに
 相当数がつれた。特にQJ氏によるハイ取込みを
 利用した大量捕獲はみごとであった。一方当日は
 母の日とあって、持参したハガキによりOM連のメシ
 たる、魚料理、ニギリメシの製作。初夏の太陽の
 下で大活躍の面々で、虎行夜釣、みみりうちに
 平らけられた。

子供に気分が帰って来た一日も、全員そろって写真
 撮影。16時頃、各自荷物をおかきつけてそれぞれ
 帰途についた。

DE JASAHM

香川クラブ報

No. 131

昭和44年7月5日



JARL

香川クラブ報

No.140 昭和47年6月15日

社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ

JARL

NO.159

50.6.15

香川クラブ報



社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ

JARL

香川クラブ報

(創立 30 周年 記念号)

№180 昭和54年 2月15日



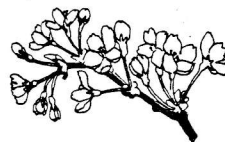
JA5 YDE

社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ

JARL

香川クラブ報

№235 昭和63年 4月15日



社団法人 日本アマチュア無線連盟
香川クラブ報

発行責任者	JA5AHM 天 野 英 弘
編 集 者	JA5IQP 合 田 口 正 春
"	JA5MIX 新 名 等
"	JA5OIB 合 田 口 キヨ子
連絡事務所	高松市中新町 5
(〒760)	天 野 英 弘 方
(TEL)	高松 昼
	夜
郵便振替口座	徳島4-8758 JARL香川クラブ

私とハムの始まり

(クラブ報より)

JA5AG 太田 等

私がラジオらしきものに興味を持ち始めたのは昭和3年頃でした。教室の隣の物理・化学の標本室に何だかえたいの知れない物があったのがそのキッカケ。えたいの知れない物それが1球ラジオでした。・・・(略)約半年がかりでやっと1球セットらしきものが出来上がったが、最後に肝心の電池がない。どうしようと思っていると運よく6V蓄電池が1個手に入った。その頃のラジオはフィラメント用に6V蓄電池、Bの高圧に単一乾電池を並べて22.5Vか45Vにしたもので、私の第1号機にも22.5Vが入用。でも買えないので単一3本をシリーズにつなぎ、今だと馬鹿な様だけれど、その時の私なりに考えて、形が乾電池の方が小さく、蓄電池の方が大きいからと、ただ電池の大小でAに乾電池、Bに形の大きい蓄電池を接続。ところがそれでも聞こえたのだから不思議。その時の感激は！・・・とにかくこれが私の病気の始まりで、以来〇〇年間病コウモウと言った所です。

JA5AB 田中 実

昭和27年当時、やっとアマチュア局の免許1号がおりたと言うニュースで、早速申請に及んだが、当時はアマ局とて、一般無線局と申請は全く同じで、現在のような簡単なものではなく、機器はブロックダイアグラムはもちろん、配線図に部品定数まで必要であった。面白いのは無線設備の工事費及び無線局の運用費の支弁方法と言うのがある。

設備30K円 内訳は 送信設備 15K円 受信設備 10K円 他 5K円
運用費 内訳 人件費 ナシ 維持費 2K円 検査料 0.5K円 他 1K円
のようになっており、その支弁方法は 自己資金。

JA5OA 奥野 学

昨日まで鳴っていたラジオが急に故障し、ラジオ屋へ修理に行く。数日しておふくろが持って帰った。どこが悪かったの？と聞くと、なんでも紙で出来ていたものが悪かったのので取り替えた、との話。「へーラジオの中には紙で出来たものがあったのー」。これがラジオというものに一瞬興味を持った昭和26年頃の話。(略)

書店でCQという題のケッタイな本を見つけ、ハムを知り、また、広告で東邦商会だったと思いますが、トリオの6R4のキットを月賦で買い、1日で組立て、JARLに加入しSWLをはじめました。そして、JA5AG局を知り、それこそ毎日のようにAG宅に押し掛け、色々教えてもらったり、部品をもらったりして、35年に開局できました。

JA5IQD 越智 繁彬

私は昭和11年6月東京生まれ。父母は教師をしておりました。父親もきっと後継ぎとして教師になる事を期待していたのですが、西日本放送の報道製作部というあらぬ方向に走ってしまいました。ハムというものの存在を知ったのは、中学生の頃で、丁度民間放送があちこちで生声をあげていた電波時代の幕開きのガキの時分でした。それ迄の我家の並四のRadioが混信のため役に立たなくなるという事で、学校のクラブでスーパー受信機を作ったのが始まりです。その内に短波帯への興味を持ち始め、7MCでA3のQSOを聞いていました。(略)

そして、開局したのが1972年2月1日で、6mバンドで運用を開始しました。

.....

JA5KWF 清川 隆美

昭和47年12月15日に開局。開局当時は夜おそく迄面白くもない、何を喋っているのか年がいもなく小さい車にあんな長いアンテナを取りつけて見苦しいと、よからぬ顔をしていたX達であるが、HAMを始めてからは、以前のようにアルコール変調で帰宅することが少なくなり、CMが終わると急いでホームに直行するので、すこぶる健康的と悟ったらしい。最近では交信のサイドでニヤニヤしていることさえある。

年令・身分の違いを越えて親しく話が出来ることにはHAMの楽しみがあるが、それも一定の条件にある時であって、HAM仲間以前に良き社会人としてのマナーを心得、ユーモアとウィットに富んだ方、そんな局との交信は何時までも忘れられない心温まるものです.....

JA5CBF 天野 巳代子

昭和41年8月15日私とハムを結びつけた記念すべき日である。思えばあれは結婚2年目の時であった。主人のマイペースに引き込む調子よろしくハムの免許を取らないかと誘われ、当時純情そのものの私、それではと早速その気になったものの、いざ本を開いてみるとなんの事を書いてあるのやらさっぱりわからない。肝心の頭が拒否反応を起こしてさっぱり協力してくれない。ああ、これではだめ!とあっさりあきらめた。

それから1年もたつと、どうしたわけか、もうぜんとやる気が出てきた。よしこのチャンスにという訳でちょうど時もよし、こたつの上にCQ誌を山と積み、暇さえあれば問題集とにらめっこ。かくて4月の国試を迎え、親子3人で松山の試験場にのぞんだ。それから後はまさに一日千秋の思い、免許証入手までの長かったこと。

A3の皆様に発破！

(1964.12 会報N0.101 より)

現在高松地方でSSBを運用しているのは流れ者の5FT, 2BC7/5がその主たる者の様です。3.5MCではJA5のSSBも若干聞けますが7MCでは全く聞けません。

TVI, 電気代, DXが出来ないでTX88あたりで混信にも悩まれ、ハムを始めてもすぐ落胆して止めてしまうのがA3の人達の現状の様です。そこでTX88Aなどは直ちにバラしてジェネレータは別シャーシで組上げるという行き方で最近の恵まれたキットなど利用すれば、殆どポケットマネーの範囲内で結構楽しめるSSB TXが出来ます。

三豊方面ではこの3~4ヶ月間の内にこの方法で急激に4局ばかりSSB局が誕生し、毎晩TVIのないゆうゆうたるラグチューの花咲かりです。SSBの10WはA3の80Wにも匹敵し、807S程度のリニアアンプで実に快適なQSOが出来ることは皆様も十分ご承知でしょう。受信機もQ5erでもつけ、これにプロダクト検波器をつければ9R59もSSB用として十分に使えます。大きな変調トランスを必要とし検波してしまえば全く不必要な搬送波は混信によってピーピーといやな音に変わり肝心の音声はそのピーの4分の1しかないため音声を聞くためには神経がとがるばかりでシリ切れQSOになって後味が悪く、そんなことにならない様にとQSOの時間を出来るだけ短くするためRS交換とQSL交換、リグの紹介程度で終り。これではハムの楽しさなど1ヶ月もすればなくなってしまふのは当然です。時代は進歩しており割合腰の重いメーカーでもハム用SSB TX RXを発表している位ですからA1 A3だけで事足れりとするのはHF帯を開発したハムの先駆者にも申し訳けがないとも言えますが如何でしょうか。

よくOn the Airで「私もSSBをやりたいと思っていますが一寸ひまと金がなく」などと言っている局に限って何時までたってもSSB化したためしがなく、本当にやる気のある人はしばらくQRTしていて半年もするうちに急にSSBで飛び出してきました。

とにかくSSBの良さは話で聞いて知っていても実際にそのラグチューなり、DX QSOを聞いてみないことには本当の良さは分かりません。もし本当にやる気のある方は受信機を改造して聞いてみて下さい。(中略)

もう入る余地の極限を超えている7MCにあってはSSBか電信以外はもう処置がないところまで来ています。私など時々ローカルラグチューでもやろうと思ってもSSB局が殆ど居ないのは全く淋しい限りです。

A3にもA3のいいところがあり捨て難い魅力も持っていましたが、私は思い切ってSSBに転向して以来数年、本当に切り換えてよかったと心から思っております。高松地方の皆様、ぜひ1日も早くサイドバンダーとして名乗りを上げて下さい。とにかくJAの中でJA5が最もSSBが少ないのです。そこでJA5の大部分のSSBは香川クラブだと全国に名を馳せるべく努めようではありませんか。

De JA5FT

J A R L 香川クラブ定款

第 一 章 総 則

(名 称)

第 一 条 本会は、JARL香川クラブと称する。

(事務所)

第 二 条 本会は、事務所を庶務担当理事宅におく。

第 二 章 目的及び事業

(目 的)

第 三 条 アマチュア無線愛好者の親睦と技術の向上、一般への認識を深めることを主たる目的とする。

(事 業)

第 四 条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) ミーティング (2) 会報の発行 (3) 非常災害時の協力並びに訓練
- (4) 講習会 (5) 一般へのPR (6) アマチュア無線局の開設及び運用
- (7) その他

第 三 章 会 則

(会員の資格)

第 五 条 本会の会員は、アマチュア無線従事者の資格を有し、クラブの無線設備の操作を行うことができる者（以下正会員という）及び正会員以外のアマチュア無線に興味の有る者（以下準会員という）、ならびに正会員と同一住所に居住するアマチュア無線技士の資格を有する者（以下家族会員という）とする。

2. 本会に、特別会員及び名誉会員をおくことができる。

(人 会)

第 六 条 人会希望者は、所定のカードに必要事項を記入し、人会金を添えて申し込むこと。

(人会金)

第 七 条 人会金は会費と同額とする。

(会 費)

第 八 条 会費は、年額正会員2,000 円、準会員 350円とし、特別会員及び家族会員は無料とする。

但し、新入会者は人会年度の会費は免除する。

(会員の資格の喪失)

第 九 条 会員は、次の事由によって資格を失う。

- (1) 脱 退 (2) 死 亡 (3) 除 名

2. 家族会員は、正会員の失格によりその資格を失う。
3. 会員が脱退しようとするときは、届出なければならない。

(除 名)

第 十 条 次の各号の一に該当するものは、役員会の決議を経て除名することができる。

- (1) 会費の未納が6ヶ月以上にわたる場合(厳守)
- (2) 会の秩序を乱す者
- (3) 電波法令に違反した者

第 四 章 役員及び顧問

(役員の数及び選任)

第 十 一 条 本会に次の役員を置く。

会 長 1名 副会長 1名 理 事 若干

2. 役員は、総会において会員中から選任する。
3. 本会に、名誉会員をおくことができる。

(会 長)

第 十 二 条 会長は、本会を代表する。

2. 会長は、本会の業務について掌理統括する。
3. 会長は、総会及び役員会を招集してその議長をつとめる。

(副会長)

第 十 三 条 副会長は、会長を補佐し、本会の業務を執行する。

2. 副会長は、会長に事故ある時はその職務を代理し、会長欠員の時は、その職務を行う。

(理 事)

第 十 四 条 理事は、次の業務を分担する。

- (1) 庶 務 (2) 会 計 (3) 編 集 (4) 企 画 (5) 渉 外
- (6) 技 術 (7) 賞 典

2. 各業務の兼務は妨げない。

(役員の任期)

第 十 五 条 役員の任期は、一年とする。

(監 査)

第 十 六 条 監査業務は会員全員にて行い、会計監査は総会出席者全員により行う。
そのため役員はおかない。

(顧 問)

第 十 七 条 本会に、顧問をおくことができる。

2. 顧問は、会長が役員会の審理を経て委嘱する。
3. 顧問は、本会の運営に関して、会長の諮問に応じ役員会に出席して意見を述べることができる。

第 五 章 会 議

(総 会)

第十八条 総会を分けて、通常総会及び臨時総会とする。

2. 通常総会は、毎年三月に開催する。

3. 臨時総会は、次の各号の一に該当する時に開催する。

(1) 役員会が必要と認めたとき。

(2) 全会員の二分の一以上から、会議の目的とする事項及び理由を記載した書面をもって要求があった時。

(総会の招集)

第十九条 会長は、総会を招集する時は、会議の日から10日前に日時・場所及び会議の目的を示した書面をもって会員に通知しなければならない。

(総会の附議事項)

第二十条 総会に附議する事項は、本定款において別に定めるものの外、次の通りとする。

(1) 事業計画及び収支決算 (2) 業務報告 (3) 定款の変更

(4) 重要なる財産の取得及び処分 (5) 会費に関する事項

(6) 解 散 (7) その他の重要な事項

(決議方法)

第二十一条 総会は、会員の三分の一以上の出席（委任状を含む）がなければ議事を開くことができない。

2. 総会の決議は、出席会員の過半数をもって行い、可否同数の時は議長が決定する。

3. 定款の変更及び解散の決議は、前項の規定にかかわらず、出席会員の四分の三以上をもって議決しなければならない。

4. 議決権の行使を委任した会員は、本条の適用については出席したものとみなす。

(議決権)

第二十二条 本会の議決権は、正会員・準会員及び特別会員ともに有する。但し家族会員は議決権を有しない。

(議事録)

第二十三条 会議の議事録は、議長及び総会の指名した署名人が署名捺印しなければならない。

(役員会)

第二十四条 役員会は、役員により構成され、緊急事項及び総会・ミーティングの委託された議題を討議決定する。

2. 役員会は、役員の二分の一以上の出席がなければ議事を開くことができない。

3. 役員会の決議は、出席役員の過半数をもって議決する。可否同数の時は議長が決定する。

第 六 章 資産及び会計

(資 産)

第二十五条 本会の資産は、設立当初の寄附財産・会費・寄附金及びその他の収入からなる。

2. 本会の資産の管理及び運用は、役員会の決議を経て会計責任者が行う。

(予 算)

第二十六条 毎事業年度の予算は、当該年度開始前役員会において作成し、通常総会の承認を受けなければならない。

(経 費)

第二十七条 本会の経費は、会費・寄附金及びその他の収入によりまかなう。

(旅 費)

第二十八条 旅費は、会長が認めた出張に対して交通費の半額を支給する。旅費は、経費よりまかなう。但し人員は役員数内とする。

(会計年度)

第二十九条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第 七 章 補則及び付則

(届 出)

第三十条 会長は、構成員（正会員）に変更があったときは、すみやかに四国電気通信監理局長に届出ることとする。

2. この定款または理事について変更しようとするときは、あらかじめ四国電気通信監理局長に届出ることとする。

(補 則)

第三十一条 本定款に必要な規則は、役員会が定める。

(付 則)

第三十二条 本定款は、昭和42年3月5日より実施する。

- | | | |
|----|--------------|----|
| 1. | 昭和 43年 3月 3日 | 改正 |
| 1. | 昭和 44年 3月 2日 | 改正 |
| 1. | 昭和 46年 3月 7日 | 改正 |
| 1. | 昭和 47年 3月 5日 | 改正 |
| 1. | 昭和 48年 3月 4日 | 改正 |
| 1. | 昭和 51年 3月 7日 | 改正 |
| 1. | 昭和 57年 3月 7日 | 改正 |
| 1. | 昭和 58年 3月 6日 | 改正 |
| 1. | 昭和 60年 4月 1日 | 改正 |

アワード規約

発行者： JARL香川クラブ

* SETO賞 (SETONAIKAI賞)

条 件： 香川，愛媛，山口，広島，岡山，兵庫の6県のQSLカードの
ラストレターで「SETONAIKAI」と綴る。

10枚のQSLには6県全部を含むこと。

申請書類： アマチュア局2名の証明を受けた申請書+申請料400円

申請先： ☎761-24 香川県綾歌郡綾歌町

稲毛 章 JA5MG

* WAO/MM賞 (Worked All Ocean賞)

条 件： 海上移動局（・・・/MM局）のQSLカードを6枚得る。

申請書類： アマチュア局2名の証明を受けた申請書+申請料400円

申請先： ☎761-24 香川県綾歌郡綾歌町岡田下571-1

稲毛 章 JA5MG ☎

備 考： (両賞共)

- 1) シングルバンド，モードは特記する。
- 2) SETO賞申請書には県名も記入のこと。
- 3) 海上移動局とは主に船舶乗組員が運用する局をいう。
- 4) WAO/MM 賞の申請書にはMM局のQTHを記入のこと。
- 5) SWLにも発行する。
- 6) 交信年月日には制限なし。

** アワードは申請受付日より原則として5日以内に発行する。

****アワードはあなたへの勲章です****

アワード発行状況

(1) エリア別

	SETO賞		WAO/MM賞	
	発行数	エリアNo. 1	発行数	エリアNo. 1
JA1	160	JA1POE	132	JA1OUB
JA2	123	JA2CZB	65	JA2-1762
JA3	299	JA3ELU	98	JA3CED
JA4	172	JA4DJM	52	JA4XW
JA5	150	JA5BNZ	38	JA5MG
JA6	135	JA6BHY	61	JA6CEQ
JA7	80	JA7TI	62	JA7TI
JA8	111	JA8EJB	75	JA8QX
JA9	39	JA9BXW	13	JA9CAF
JAØ	31	JAØ-2226	16	JAØBFO
D X	7	SM5BNX	18	HM1AP
合計	1307		630	

(2) 年度別

	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
SETO賞	25	42	29	28	39	58	67	74	178	120	82
WAO賞	5	25	23	34	39	47	57	48	70	64	54
(計)	30	67	52	62	78	105	124	122	248	184	136

	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
SETO賞	89	70	68	63	54	33	39	28	66	47	28
WAO賞	30	26	16	18	14	11	9	16	11	13	6
(計)	119	96	84	81	68	44	48	44	77	60	34

*アマチュア無線再開

10周年記念 (37・7・29)

JA5AG 太田 等

20周年記念 (47・7・29)

JA5AF 大塚 政量

JA5MG 稲毛 章

25周年記念 (52・9・23)

JA5OA 奥野 学

30周年記念 (57・10・8)

JA5AA 久米 正雄

JA5AF 大塚 政量

JA5AG 太田 等

JA5OA 奥野 学

*JARL創立

50周年記念 (51・9・23)

JA5AA 久米 正雄

JA5AG 太田 等

JA5MG 稲毛 章

60周年記念 (61・11・8)

JA5AF 大塚 政量

JA5AG 太田 等

JA5OA 奥野 学

JA5XG 檜原 貞男

JA5IQD 越智 繁彬

JA5IQP 合田口正春

JARL香川クラブ

*四国地方本部30周年記念 (58・10・2)

JA5AA 久米 正雄

JA5AF 大塚 政量

JA5AG 太田 等

JA5OA 奥野 学

JA5UY 長尾 浩孝

JA5XG 檜原 貞男

*JARL30年会員

42年 JA5AG 太田 等

45年 JA5AF 大塚 政量

60年 JA5AP 川西 太郎

*JARL50年会員

63年 JA5AG 太田 等

*電波の日記念

40年 JA5AA 久米 正雄

43年 JA5AG 太田 等

48年 JA5AF 大塚 政量

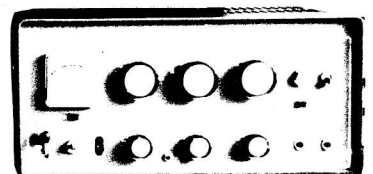
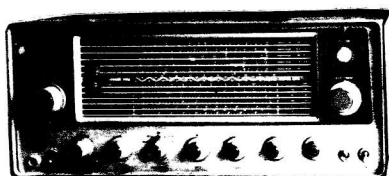
49年 JA5MG 稲毛 章

*JARL役員20年 (58・5・22)

JA5AF 大塚 政量

*JARL著作貢献 (45・5・24)

JA5AF 大塚 政量



J A R L 会 員 数

(毎年3月末)

年	アマ局数	会 員 数			従事者数
		全会員	(正員	准員・家族)	
28	193				907
29	1045				3048
30	2511				4948
31	3322				5777
32	3679				6541
33	4516				8654
34	5819	4501	(3012	1489)	9790
35	8566	5913	(4324	1589)	20077
36	15387	8381	(6996	1385)	29897
37	19939	7766	(6818	948)	36378
38	25440	8285	(7365	920)	45141
39	31011	12777	(10677	2100)	56584
40	38438	16321	(13419	2902)	70479
41	45032	19391	(15853	3538)	82841
42	53048	19661	(16736	2925)	103613
43	66365	23763	(20570	3193)	129459
44	83224	28862	(25071	3791)	163229
45	105933	40969	(33421	7548)	205262
46	136914	47106	(39857	7249)	256655
47	180268	57394	(48229	9165)	315270
48	213335	49715	(45058	4657)	369495
49	246514	58342	(53213	5129)	443991
50	286247	68664	(62280	6384)	499308
51	320304	67665	(61775	5890)	563115
52	341018	78268	(72282	5986)	622828
53	364091	90220	(82987	7233)	686301
54	399915	103759	(95098	8661)	744866
55	442105	118035	(108029	10006)	821790
56	485530	119995	(110345	9650)	905376
57	523021	126465	(116232	10233)	1000779
58	550338	130213	(119618	10595)	1089590
59	574581	131262	(120513	10749)	1176905
60	596953	129721	(119058	10663)	1270164
61	703204	137114	(125438	11676)	1368083
62	749414	140867	(128586	12281)	1471113
63	825153	143626	(130556	13070)	

世界のアマチュア局数		(I A R U 1987年調べ)	
日 本	726,829	ブラジル	24,126
アメリカ	421,872	カナダ	23,600
西ドイツ	56,897	オーストラリア	16,646
イギリス	55,000	フランス	15,000
ソビエト	47,200	オランダ	13,920
インドネシア	40,000	スエーデン	11,073
アルゼンチン	35,000	デンマーク	10,600
イタリア	28,003	(以下略)	
スペイン	26,000	総合計	1,671,000

J A R L 香川クラブ会員名簿

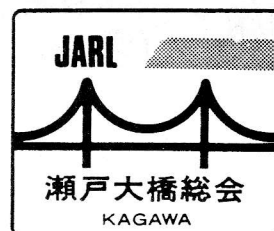
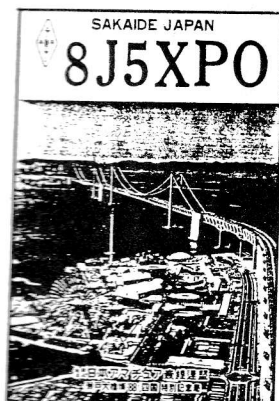
	CALL	氏 名	郵便	住 所	自 宅 電 話 番 号
会 長	JA5AHM				
副会長	JA5IQP				
庶 務	JH5LYW				
-〃-	JH5WMN				
会 計	JA5MIK				
編 集	JA5IQP				
-〃-	JA5MIK				
-〃-*	JA5OIB				
企 画	JA5 UY				
-〃-	JA5BXS				
-〃-	JA5EMM				
-〃-	JA5KZK				
-〃-	JA5TOP				
-〃-	JH5EZB				
-〃-	JH5GTO				
技 術★	JA5 AG				
賞 典	JA5 MG				
記念誌	JA5IQP				
顧 問	JA5 OA				
-〃-	JA5IQD				
★	AA				
	AB				
★	AF				
	AP				
	DB				

CALL	氏 名	郵 便	住 所	自 宅 電 話 番 号
JA5 VO	田中 崇弘	761		
VP	宮川 晴夫	769-01		
XG	樫原 貞夫	769-21		
* JA5BCS	田村 ヒロ子	761		
BQL	板坂 国夫	769-29		
CAU	平井 一	769-01		
* CBF	天野 己代子	760		
CSR	湯谷 憲智	761		
* CSS	稲毛 キミ子	761-24		
* DPC	樫原 貞子	769-21		
* DZM	長尾 和子	761-21		
ETK	佐藤 康弘	760		
GVZ	山田 行夫	761-03		
IAF	小田 征一	765		
* IMF	佐藤 充子	760		
IQH	清原 成允	763		
IRP	人見 和郎	761-17		
* JJR	佐藤 信弘	760		
* KEM	越智 幸子	761-21		
KWF	清川 隆美	761-01		
MMX	田村 耕治	760		
MNY	竹仲 善孝	761		
MSC	池内 寿一	761-17		
NDZ	上川 敦生	760		
ODL	小郷 修	760		

	CALL	氏 名	郵便	住 所	自 宅 電 話 番 号
*	JA5OIA	人見 絃美	761-17		
	OMQ	森塚 薫	760		
*	OZQ	樫原 一宏	769-21		
	PIO	小林 武雄	761-01		
	PNI	星野尾 力	761-04		
	PVF	奴賀 敬三	761-01		
	PZL	高畑 康男	761		
	QPL	小川 敏夫	760		
*	RGU	越智 ゆう子	761-21		
*	RGV	小林 昌代	761-01		
	SSB	田村 正道	761		
	TFJ	横田 寿夫	761		
	VOJ	森岡 広	761		
	WSZ	村岡 正章	760		
*	XIB	竹中 文子	761		
*	JH5ANO	新名 タカ子	762		
	BKC	細谷 正文	761-14		
*	DCW	横田 ツヤ子	761		
	ESC	松井 繁成	769-01		
	EZC	田井 利幸	761		
	HGI	高橋 利彰	761-17		
*	IBT	渡辺 芳栄	761		
*	LTR	苧側 純子	761-24		
	MGE	林田 恒定	761		
*	PRJ	三好 美智江	761-04		

CALL	氏 名	郵便	住 所	自 宅 電 話 番 号
JH5QOG	坂口 稔	761		
* RYG	佐藤 弘	760		
* UEY	平賀 涼子	761		
WLP	関 正美	761		
* JR5AEB	喜多 三代子	760		
* GCM	佐藤 艶子	760		
* GCN	佐藤 友紀	760		
* GCR	長尾 祥弘	761-21		
* GHC	上川 宏	760		
* IFQ	山口 幸子	761-01		
* LHM	上川 ケイ子	760		
MPO	今村 忠明	760		
* NFO	稲毛 明美	761-24		
QEZ	坂本 健一	761		
* QWJ	稲毛 恵子	761-24		
* QWK	稲毛 由美子	761-24		
VSG	菊田 真寿美	769-21		
* JE5IKW	三好 勝博	761-04		

正会員＝（５５名） ★＝名誉会員（３名） ＊＝家族会員（３２名） 合計（９０名）





41年 8月



44年 1月



50年 5月



57年11月



58年 5月



59年 7月

40周年記念にあたって

わがJARL香川クラブが、ここに創立40周年を迎えましたことを、
会員皆様とともに心からお喜び申し上げます。

その間にはいろいろな事があったことと存じますが、この記念誌を手
にする大半の方は途中からの入会であり、以前の歴史に暗いものである
ところから、本誌の編集によってその道を知り、さらにこれを後世に残
すことは誠に意義深いものがあります。

クラブではこの40周年を記念して、本誌発行のほか記念式典・記念
QSLカードの作成、その他いろいろな行事を行いました。

かつては年寄りクラブとの異名をいただきましたが、今や徐々に若返
りつつあり、今後とも会員皆様方の御協力によりまして益々の発展を願
うものであります。

終わりに臨みまして、本誌の作成に当たり各種資料の御提供ならびに
御協賛をいただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

1988年12月 1日

JARL香川クラブ40周年記念実行委員長

JA5TFJ 横田 壽夫

JARL香川クラブ40周年記念誌

1988年12月 1日 発行

発行者 社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ
会長 JA5AHM 天野 英弘

編集者 JARL香川クラブ40周年記念誌編集委員会

事務所 〒760 高松市中新町



高松市制施行90周年記念

市長 脇信男

JA5YDE

JARL 香川クラブ



栗林公園

玉藻城



屋島

市勢概要 55.7.1 現在

位置	東経 134°02' 北緯 34°20'
面積	194.91 km ²
世帯数	99,014
人口	男 153,013人 女 162,949人



KAGAWA JAPAN

JA5YDE



柳原 良平



(承) B-6025

瀬戸大橋博'88

Seto-Ohashi Fair '88

祝 日本アマチュア無線連盟 香川クラブ創立40周年

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

通信機・高松

Phone 35-2411

信用と信頼、そして安心

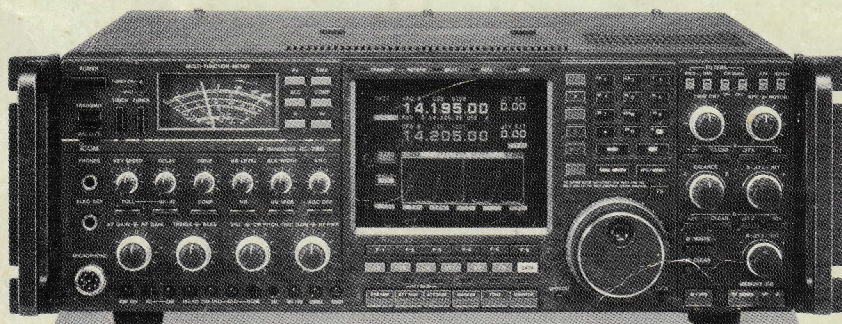
アマチュア無線・パーソナル無線
営業無線・パーツ・マイコン
家電・オーディオ 何でもそろう

(株) 電化センター

高松市天神前 4-35 (菊池寛通り中央公園南)
TEL 高松 (0878) 626077 番・FAX (0878) 334995 番

HF TRANSCEIVERS

頂点を極めたインテリジェンス・マシーン。



ICOM

高品質がテーマです。

HFオールバンド
<SSB・CW・RTTY・AM・FM> 100W トランシーバー

IC-780

¥698,000 JARL登録機種 登録番号 1-108H (100W申請)
1-108M (50W申請)

サイズ: 425(W) × 149(H) × 411(D)mm

アイコム株式会社 四国営業所 760 高松市塩上町2丁目1-5

TEL (0878) 35-3723